

建築協定だより

第5号 平成5年2月15日

編集・発行 京都市建築協定連絡協議会
京都市中京区寺町通御池上る
上本能寺前町488番地
京都市住宅局建築指導部指導課内
☎ 075(222)3620

さあ！平成5年

会長挨拶

新しい年を迎え、早や2ヶ月余が過ぎようとしています。この1年も各地区の皆様方には御健勝で過ごされることを心よりお祈り申し上げます。

昨年中、皆様方には、魅力あるまちづくりを目指した本協議会の活動に御理解と御協力を賜りましたことに、心よりお礼申し上げます。

昨年は、協議会として、多くの取組みにチャレンジした1年でした。

住環境に関するアンケートに始まり、横浜市の役員の方々との交流会、まちづくり月間に合わせての総会、講演会の開催、そして秋の他都市見学会の



藤田会長



今年もみんなで“まちづくり”

実施、と多種多様な行事が行われました。また昨年の京都市自治記念日の式典において、本協議会に対して市長から感謝状をいただくなど、協議会として喜ばしいこともあります。これもひとえに各地区における皆様方の御活躍を評価されてのことと、役員一同感謝しております。協議会としての初めての試みとして実施いたしました、他都市への見学会におきましては、同じ目的を持って努力しておられる方々の意見や現状

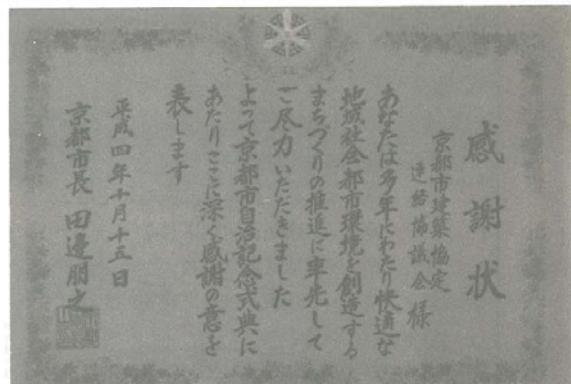
を実際に見ることができ、大変有意義であったと思います。今回は残念ながら役員有志だけによる参加となりましたが、次回からはより多くの方に参加していただければと思っています。

これからも、この協議会のますますの充実、発展を目指して役員一同努力してまいる所存でありますので、各地区的皆様方には、今後とも御協力頂きますようお願いいたします、御挨拶とさせていただきます。

京都市自治記念日に感謝状を受ける

京都市の「住民自治」の基礎が確立されて94周年を迎えたことを記念する「京都市自治記念式典」が、昨年の10月15日に京都会館第1ホールで開催され、快適な地域社会や、都市環境を創造するまちづくりなどに貢献された個人、団体に対して表彰が行われました。この中で、私たち京都市建築協定連絡協議会もこれまでの活動が評価され、当日市長から感謝状をいただきました。

私たちの地道な努力の積み重ねが認められたもので、誠に御同慶の至りであります。このことを一つのバネとして、更にいきいきとした地域づくりに邁進していこうではありませんか。



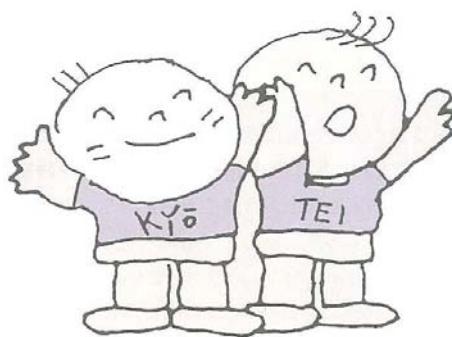
健康都市づくり市民会議へ参加

京都市は、一昨年11月に「人が主役のまちづくり」を目指した健康都市構想を策定し「人が主役・健康が尺度」をキーワードとした様々な施策が進めております。京都市建築協定連絡協議会も、「健康都市・京都を考える市民100人懇談会」の一員として、この構想づくりに参加、協力してまいりました。

昨年10月に市民、各種団体、企業等が「健康都市・京都」の実現に向け、集い交流する場として、「健康都市づくり市民会議」が設立されました。

この市民会議の設立にあたり当連絡協議会に対して、団体会員として参加してほしい旨の要請を受けました。私たち連絡協議会も、良好で健康的なまちづくりの推進という観点から発足した組織であることから、この要請を受け、健康都市づくりに参加していくことになりました。

第1回会議は、昨年の10月3日に伏見区の京都府総合見本市会館パルスプラザにて、晴れやかに開催され、参加された各関係者は今後の取り組みに決意を新たにしておられました。





MM21地区 ランドマークタワー(高さ297m)

横浜市の建築協定

横浜市の建築協定のはじまりは古く、昭和32年に初めての認可地区が誕生しました。以来、市民の間で建築協定の効果が次第に認識されていき、着実にその数が増えていきました。現在、200を越える地区で建築協定が結ばれており、全国一を誇っています。中には、主婦や子供達が地区の状況を調べて「地区カルテ」を作成する地区などもあり、個性的な活動が展開されています。

昨年の5月14日には横浜市建築協定連絡協議会の役員の皆さん、京都に来られ、いろいろと交流を深めることができたことは記憶に新しいところです。



他都市見学レポート

～横浜・川崎編～

見学会行程 H.4.11

17日（火）
08：50 集合 京都駅
09：10 出発
11：39 新横浜駅着
13：00 横浜市役所訪問
14：00 ・金沢区西武金沢文庫住宅第2次建築協定地区見学 ・同地区運営委員より地区説明
15：00 ・中区新本牧地区建築協定地区見学
16：00 ・MM21（みなとみらい21）地区見学
17：00 横浜市建築協定連絡協議会役員との意見交換会
18：20 宿泊舎へ・横浜海員会館
18日（水）
10：30 川崎市役所訪問 ・川崎市建築局指導課と懇談会
12：00 解散

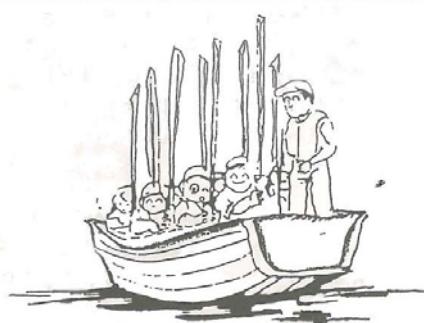
協定地区へ

金沢文庫住宅第2地区

最初に訪問したのは、金沢文庫住宅第2地区という、横浜市役所から車で約1時間ほどの、昔はすぐ近くまで海岸があった（タクシーの運転手さんの話です）少し海の匂いがするところでした。傾斜地に開けたこの地区は、開発から約20年の間に育んできた環境が見事に実を結び、緑豊かで開放的な環境が形成されており、協定の成果が伺えました。

特に印象に残ったことは、戸数の多さ（ナント!!1200区画！）と地区的広さ（凄く広くて27ha、ちなみに京都最大の地区は、伏見区醍醐柿原住宅地区の6ha）です。さらにこの地区は、3種類の用途地域（第1・第2種住居専用地域、住居地域）にまたがっているのです。

ここでは地元の運営委員の方々と直接意見交換させていただく機会がありました。委員さんから、「基本的に第1種住居専用地域の規制を建築協定として締結しています、自治会と協定地区とが合致しない部分もありますが、住環境を良くしたいとの思いは同じであり、協力してもらっています。心配は、業者の介入で、地域秩序が乱れないかということです。また、住宅分割については特に規定はありませんが、開発時（20年前）の宅地造成における最低宅地面積の数値を準用して、これに協力してもらっています。」とのお話を聞かせて頂きました。



さて次は、

新本牧地区

次に訪れた新本牧地区は、ガラッと変った雰囲気で、まるでアメリカ郊外の町並みを思わせるような住宅街です。ここが長い間アメリカ軍の居住地として接收されていたという歴史を持っている地区だからでしょうか。

この地区もまた広大な地区で、商業施設、共同住宅、一戸建住宅等が計画的にまとめられ、一つの町を作るようなことにも、建築協定を活用しておられます。今回はその中の一戸建住宅のゾーンを見学させていただきました。開放的な前庭を持つ敷地（塀はなく垣根など開放的なものが多いんです）、や電柱のないこと。それらが通路景観を広々としたものにして、良好な住環境が保全されています。



新本牧地区

意見交換

横浜市の連絡協議会の皆さんとの交流会で盛り上がったのは、やはり各地区での運営についてでした。

建築の相談が出てきたときの手続や、役員の任期についての問題、委員会の運営、行政との連携等、実践的で参考になる意見聞くことができました。中でも、地区内のリーダーの必要性や、地道に活動されている役員の皆さんの苦労話には、参加者・同席した行政の担当者もしきりに頷いておられました。

関西と関東、古い都のあった町と港のある町、京都と横浜には、様々な違いはありますが、それぞれ我がまちを思う気持ちに変わりはありません。建築協定を通じて、ここでも同じように悩み、努力する皆さんの姿に、同じ仲間として親しみを感じました。

川崎市へ

川崎市は、協定地区が13地区と京都より少なく、また運営委員会が組織されている地区も少ないとのことでした。それゆえに一生懸命に見守らなくては、という使命感が、行政の担当者の方々の言葉からも感じられました。

お話を中には、協定地区内での建築工事について地元の承認という手続がなされないため、訴訟寸前まで揉めたトラブルがあり、これについての経過も聞かせて頂きました。問題が起きた背景には、様々な原因があったと思いますが、最終手段に訴えること無くまとまったのは、やはり問題に対して当事者（地区内住民）や行政の積極的な対応と努力、そして熱意・誠意ではなかったのでしょうか。



川崎市の行政担当者と懇談

このような事は、私たちの町でも起こる可能性はあるでしょう。そんなとき、どの様に行動し、解決していくべき良いのか。その答えは、私たち一人一人と、各地区の運営委員会の努力に見付けることができるのではないかと感じました。

これから

京都市建築協定連絡協議会として初めて他都市を見学してきたわけですが、この経験を、どのように建築協定運営に生かしていくかということが大切であり、それによって今回の見学会が一層有意義であったと言えるものになると思っています。

横浜市・川崎市で得た様々なノウハウは、これから連絡協議会の活動の中に取り入れていきたいと思っています。

今回は1泊2日という見学会でしたが、その時間以上に多くのことを得ることができたと思います。



金沢文庫第2住宅地区



金沢文庫第2住宅地のまちなみ

事務局から

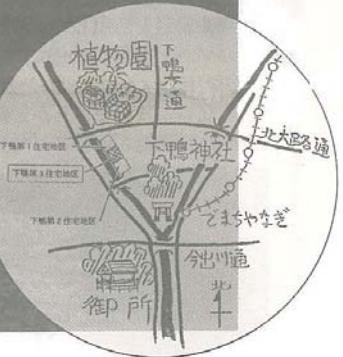
今回の見学会を振り返って、第三者的な立場で「まちづくり」を考えてみると、大変有意義なことだと感じました。これからも他都市への見学会などは積極的に実施していきたいと考えています。皆様の御意見、御希望をお寄せください。お待ちしています。



新地区紹介

(下鴨第3住宅地区)

協定地区辺りの賀茂川べり



「京都の顔」と呼ばれるものは色々ありますが、鴨川をその一番手にあげる人は少なくありません。賀茂大橋や葵橋、出雲路橋辺りから眺める北山を京都の風情とする人々もまた多くおられます。出町の「三角」から賀茂川敷をのんびり北へ歩いて20分、出雲路橋をこえた東側にある下鴨中川原町一帯が今回の紹介地区「下鴨第3住宅地区」です。

川原町という町名は元々この辺まで川原であったからでしょう。古くから賀茂の流れに慣れ親しんできた地域です。今は静かな住宅地で、町のそこかしこで世間話などされている光景が見受けられます。

*



「落ちついた雰囲気の協定地区内

広さは約1.9ヘクタール。北の下鴨第1地区と南の第2地区の間にあって、建築協定への関心も高い地区でした。長年ここで暮らしてこられた方も多く、地元への愛着もひとしおのものがあります。今回の建築協定が誕生するきっかけは、生活道路へ侵入する車の増加や、地区内の建築活動の様子を見て、今までの静かな環境がこれからも続くのかどうかという不安が生じたことでした。住民の皆さんにお互いに協力しあい、遠方に住んでおられる不在地主の方の説得など様々な苦労を乗り切られ、昨年8月、京都市長の認可を受けました。

地区内で暮らしておられる3名の御婦人方にお話を伺うことができました。「こちら辺は静かで落ち着いた雰囲気のある地域やし、昔から文化人も結構住んではります。」

「说得に回ったりする苦労はありましたけど、皆さん協力的で、思ったよりスムーズに話が進んだと思いますよ。最近“まちづくり”がいろいろと話題になってますけど、どんどん建替えるということやなくて、いいものは、そのまま残したり、お年寄りにも馴染めるような大きさや、色とか、そこらへんにも気を配っていくことが、ほんまの“まちづくり”やと思いますよ。」「川にも近いし、天気のええ日なんかはブラブラ散歩」なりできます。ええところです。」

*

平安の昔から、京都の移り変わりを静かに見つめ続けてきた賀茂川。その水と緑に育まれた土地柄のせいか、お話を伺った方々、道で出会った方々、皆さん物静かな中に、爽やかな笑顔を見せておられました。これから先もますます爽やかに、着実に“まち”を守り続けていかれることでしょう。



表示看板もついた

編 集 後 記

「寒いな～」という言葉が挨拶がわりになってきましたが、3月を前にしてそんな言葉も幾分少くなり、風や光も何となく伸び伸びしてきたように感じます。

*

今年はもっともっと皆様の声を紙面に反映して、地域とのつながりの深い機関紙にしていきたいと思っています。どうかよろしくお願ひいたします。

＊

最後になりましたが、今回訪問させていただいた横浜市の建築協定連絡協議会の役員の皆様方、金沢文庫地区、新本牧地区の建築協定委員の皆様方、横浜市・川崎市の行政の担当の方々には大変お世話になりました。紙面上ではありますが、一言お礼申し上げます。「ありがとうございました。」

そのほか発刊に際して多くの皆様の御協力をいただきましたことに感謝いたします。ありがとうございました。

